

国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会 令和 7 年度の取組実績及び令和 8 年度の取組方針案

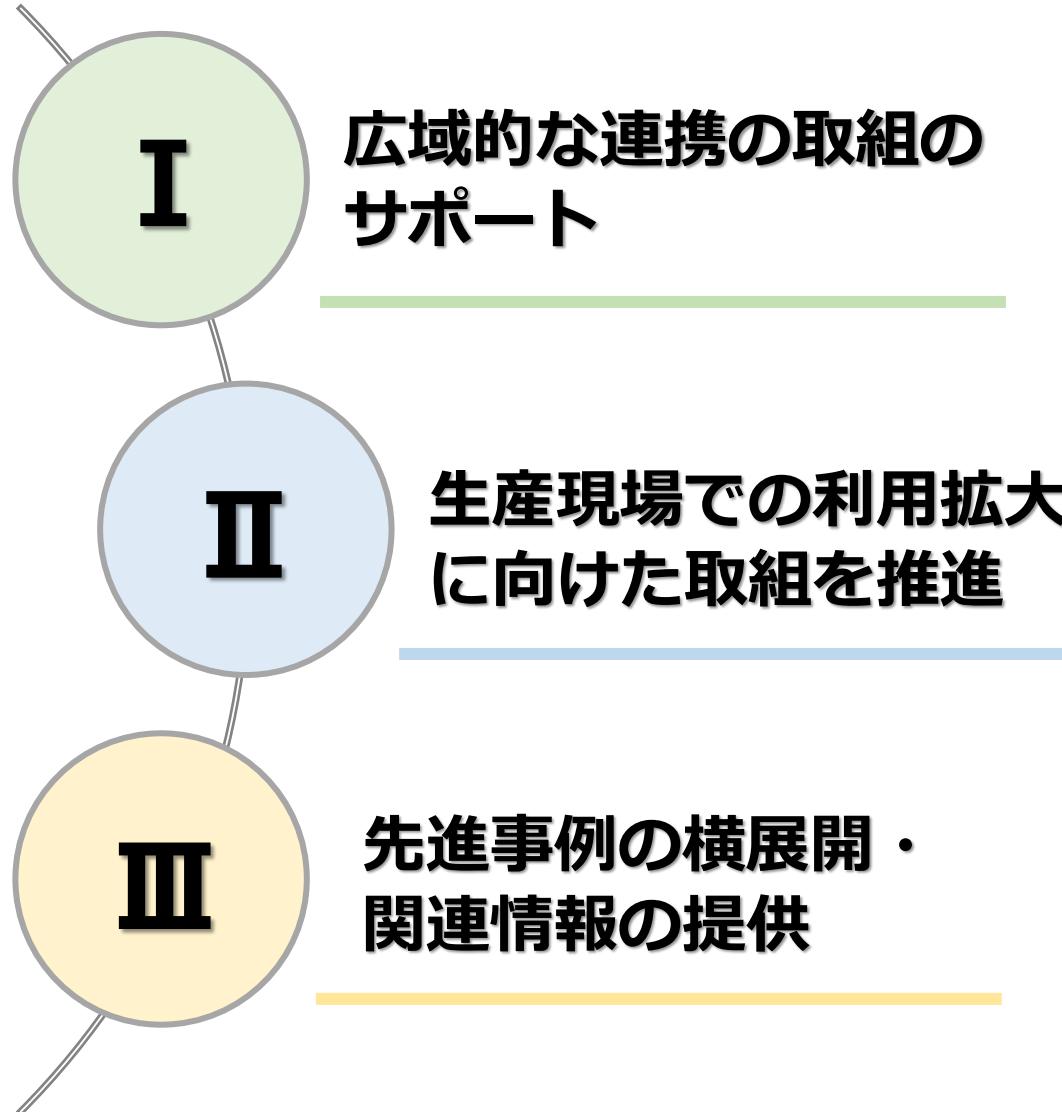
**令和 8 年 1 月
農林水産省**

国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会会員について

- 令和5年2月に国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会を設立以降、国内肥料原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者、関係団体、研究機関、地方公共団体等幅広い業界が会員となっている。
- 今年度、会員数500を突破。（令和8年1月16日現在：513会員）

【登録会員法人（団体）一部抜粋（順不同）】

 MITSUBISHI CHEMICAL GROUP Science. Value. Life.												
三菱ケミカルアクリ・ソリューションズ株式会社	三洋貿易株式会社	琵琶湖環境部下水道課	鹿児島県経済農業協同組合連合会	中部エコテック株式会社	イノチオプランテック株式会社	エア・ウォーター株式会社	トミクラ産業株式会社	一般財団法人 食品産業センター	一般財団法人 肥料経済研究所	一般社団法人 全国内用牛振興基金協会	一般社団法人 日本草地畜産種子協会	
												
青森県東北町	前澤工業株式会社	全国土の会	大西衛生株式会社	長岡市商工産業部 イノベーション課	一般社団法人 日本有機資源協会	株式会社インターフーム	株式会社クリビオ	株式会社トマウェーブ	弁理士法人プランシェ 国際知的財産事務所	株式会社ミライ工	株式会社阿佐でらす	
												
日本アルコール産業株式会社	日本ミクニヤ株式会社	日本肥料アンモニア協会	片倉コーポアグリ株式会社	有限会社和コーポレーション	株式会社永野商店	株式会社垣内	株式会社大原鉄工所	株式会社中央設計技術研究所	株式会社微生物農法研究所	関西産業株式会社	丸吉産業株式会社	
土が変われば、世界が変わる。 土壤結合合同会社												
土壤結合合同会社	森産業株式会社	正和電工株式会社	中日本力セル株式会社	緑産株式会社	宮城製肥	近畿農産資材株式会社	熊本県経済農業協同組合連合会	熊本県耕畜連携推進協議会	公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会	公共財団法人日本下水道新技術機構	国立大学法人北海道国立大学機構	



- ✓ 事業者間のマッチング機会(国内資源利用体制の構築)の場を提供し、新たな連携づくりをサポートします。
- ✓ 各地の先行事例等を基に、国内資源由来肥料の導入メリットを広く情報発信するとともに、取組のポイントや生産現場での導入に当たって留意すべき事項等の検討・とりまとめを行い、生産現場における国内資源の肥料利用の拡大に向けた取組の横展開を推進します。
- ✓ 農水省HPにおいて、関連施策情報のほか、会員からの情報を隨時受け付け、多様な関係者による取組に関する情報や知見をタイムリーに発信します。

令和7年度の取組実績

令和7年度の取組実績

- 01 全国2か所においてマッチングフォーラムを開催
- 02 全国3か所においてシンポジウム等を開催
- 03 国内肥料資源推進ロゴマークの活用促進に向けて利用規程を改正
- 04 国内肥料資源関係のHPをリニューアル
- 05 国内資源由来肥料の活用事例を追加収集・整理
- 06 第2回国内肥料資源利用拡大アワードを実施
- 07 下水汚泥資源の需給マップを作成
- 08 イベント等の情報発信

1. 全国2箇所においてマッチングフォーラムを開催

取組概要

- 肥料原料供給事業者、肥料メーカー、肥料利用者、肥料販売事業者、肥料関係機械メーカー、自治体、JAグループ等幅広い業界の関係者が一堂に会す「国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム」を開催。
- マッチングフォーラム当日は、学識経験者等による基調講演や肥料資源別の先行事例の話題提供をはじめ、交流会では肥料サンプルや商品紹介パネル等を展示するなど関係者間の交流の場を提供。
- 沖縄を除く、**全国すべてのブロック（東京、九州、東北、東海、中国四国、北海道、近畿、北陸）を一巡。**

第3回全体会合(令和7年1月)以降のマッチングフォーラム開催実績

令和7年（1月31日 第7回：マッチングフォーラム in東京）

9月18日 第8回：マッチングフォーラム in近畿（大阪）

11月13日 第9回：マッチングフォーラム in北陸（新潟）

- **出展者：全国推進協議会会員**
(肥料利用者、原料供給者、肥料製造業者、農業機械メーカー、関係団体、行政機関等) ※出展料は無料

- **来場者：一般参加（制限なし）**

国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin近畿

- 令和7年9月18日（木）に大阪府大阪市 マイドームおおさか C・Dホールにおいて、「国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin近畿」を開催。
- 当日の来場者や展示ブース出展者や相談窓口等、約240名の関係者が一堂に会し、基調講演・先行事例の話題提供や交流会を実施。

基調講演・先進事例の話題提供

東京農業大学 名誉教授 全国土の会 会長 後藤 逸男氏による基調講演のほか、以下、3団体から先進事例の紹介を行った。
(神戸市、日世(株)、(有)J1・タケダファーム)

交流会の実施

肥料サンプルや商品紹介パネル等を展示できる個別ブースを35団体が設置し、希望する原料供給者・肥料製造業者・肥料利用者等関係者の交流の場を提供。



基調講演



出展ブース



アワードコーナー

国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin北陸

- 令和7年1月13日（木）に新潟県新潟市 朱鷺メッセ メインホールにおいて、「国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin北陸」を開催。
- 当日の来場者や展示ブース出展者や相談窓口等、約300名の関係者が一堂に会し、基調講演・先行事例の話題提供や交流会を実施。

基調講演・先進事例の話題提供

福島国際研究教育機構 土壌ホメオスタシス研究ユニット ユニットリーダー 藤井一至氏による基調講演のほか、以下、3団体から先進事例の紹介を行った。
(新潟県鶏ふん利活用推進協議、绿水工業(株)、JAいみず野)



基調講演

交流会の実施

肥料サンプルや商品紹介パネル等を展示できる個別ブースを37団体が設置し、希望する原料供給者・肥料製造業者・肥料利用者等関係者の交流の場を提供。



出展ブース



出展ブース

2. 国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウム等を開催

国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウム

令和8年2月4日（水）に熊本県熊本市くまもと森都心プラザホールにおいて、「国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウムin九州」を開催予定。

開催内容

- ・ 農研機構 畜産研究部門 高度飼養技術研究領域 研究領域長 田中 章浩氏による基調講演及び3団体による先進事例の紹介、発表者によるパネルディスカッションを予定。
 - ・ 発表者の肥料情報や農林水産省の支援策等を紹介するポスター等を展示。

下水道資源肥料利用拡大セミナー

【開催実績】

令和7年 9月19日 下水道資源肥料利用拡大セミナー @大阪 (大阪府大阪市 マイドームおおさか)

11月14日 下水道資源肥料利用拡大セミナー @新潟 (新潟県新潟市 NST新潟総合テレビ・ゆめディア)

開催内容

- ・ 東京大学 特任准教授 加藤 裕之氏による基調講演及び計6自治体による先進事例の紹介、発表者等によるパネルディスカッションを実施。
 - ・ 対面及びオンラインを合わせて、いずれも200名程度の参加。



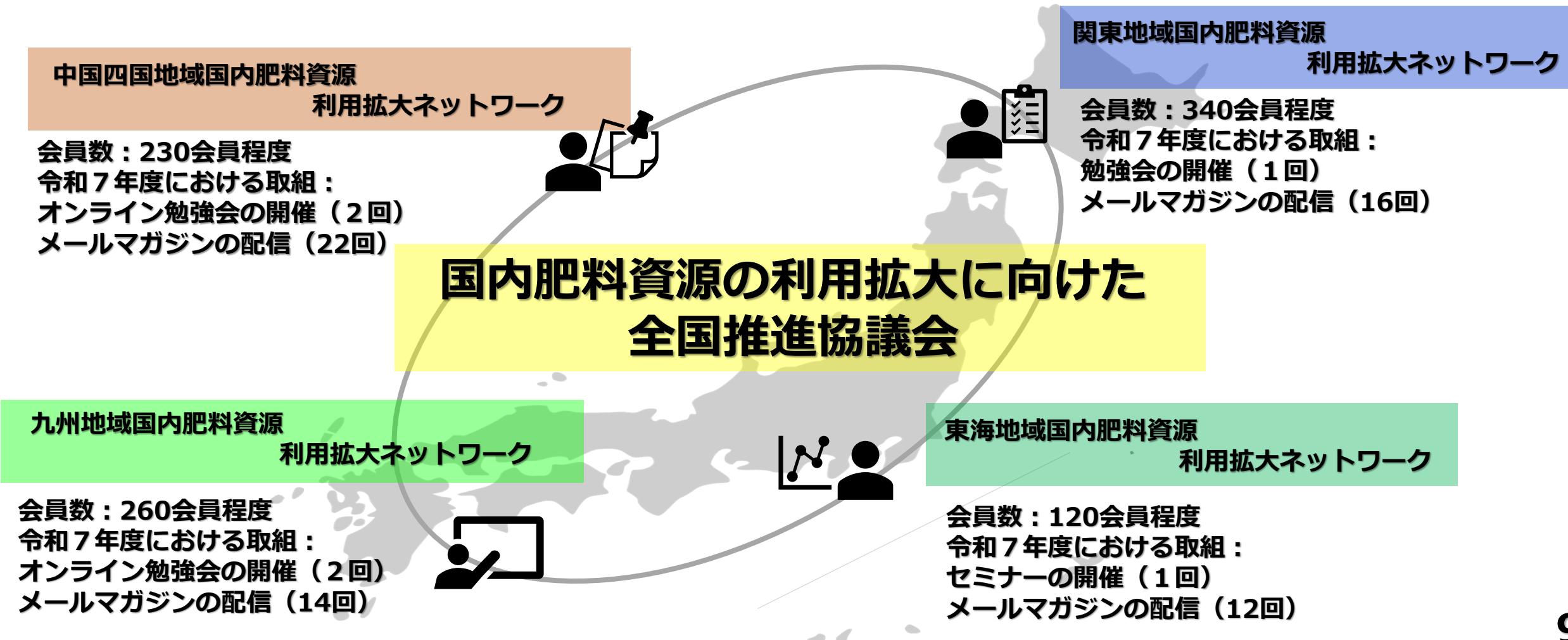
セミナーの様子の新規



パネルディスカッション@新潟

(参考) 各ブロックにおける国内肥料資源の利用拡大にかかる取組の広がり

- 全国推進協議会を中心に、各ブロックにおいて、各地方農政局が事務局となり、国内肥料資源にかかる地域ネットワークを開設し、各種勉強会や情報発信等の地域的な取組が進んでいる。



(参考) 各地の主な国内肥料資源の利用拡大に向けた取組 (ブロック別)

北海道地域

- ・全肥商連全国研修会出席 (7/3)
- ・北海道開発局 全道下水道主幹部課長会議 (8/7)
- ・下水汚泥資源の活用促進モデル実証推進会議(10/16)
- ・美瑛町下水汚泥コンポストヤード現地調査 (11/18)
- ・下水汚泥溶融スラグに関する意見交換 (11/26)

東北地域

- ・東北地方整備局との意見交換@宮城県 (10/1)
- ・管内堆肥製造施設の事例調査@青森県 (10/22)、
宮城県 (10/29)、岩手県 (11/27) ほか
- ・東北国内肥料資源の利用拡大セミナー
@宮城県 (R8.1/30)

関東地域

- ・茨城県さしまアクアステーション施設見学 (5/20)
- ・関東地方整備局との意見交換@埼玉県 (7/17)
- ・国内肥料資源利用施設事例調査及び意見交換@9カ所
(7/23、11/5、12/2、12/10、12/16、12/23)
- ・みどりの食料システム戦略勉強会での講演
@埼玉県 (R8.1/23)

北陸地域

- ・下水汚泥肥料資源の利用拡大に関する意見交換会
の開催@石川県 (7/11, 7/23)
- ・新潟県下水道公社新潟浄化センター施設見学 (11/12)
- ・国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチング
フォーラムin北陸の開催@新潟県 (11/13)
- ・下水道資源肥料利用拡大セミナー@新潟県 (11/14)

東海地域

- ・農業集落排水の肥料利用に関する意見交換
@三重県 (7/8)
- ・国内肥料資源の利用拡大セミナー
@愛知県 (R8.1/21)
- ・国内肥料資源事例調査@愛知県、三重県
(5/12, 8/20, 8/21, 12/24, 12/25)

近畿地域

- ・国内肥料資源の利用拡大に向けた
マッチングフォーラムin近畿@大阪府(9/18)
- ・下水道資源肥料利用拡大セミナー@大阪府 (9/19)
- ・令和7年度国内肥料資源の利用拡大セミナー及び
情報交換会@大阪府 (1/30)

中国四国地域

- ・国内肥料資源利用拡大ネットワーク勉強会の開催
@岡山県 (8/27, R8.2/3)
- ・中国地方整備局、四国地方整備局との意見交換
@岡山県 (7/24)
- ・福山市松永浄化センターの視察及び意見交換
@広島県 (12/1)

九州地域

- ・九州地方整備局との意見交換@福岡県 (4/30)
- ・農研機構九州沖縄農業研究センターとの堆肥センター
調査@福岡県 (5/15・16)、長崎県 (7/15) ほか
- ・九州地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク勉強会
@熊本県 (6/11, 10/8)
- ・国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウムin九州
@熊本県 (R8.2/4)

フォーラム
シンポジウム

セミナー
勉強会

その他
意見交換など

3. 国内肥料資源推進ロゴマークの活用促進（利用規程の改正）

- ロゴマークの運用開始から2年以上が経ち、これまでに延べ75の事業者からロゴマークの使用申請があり、150銘柄以上の肥料袋に貼付のほか、HPや名刺などに使用。
- ロゴマークの利用にあたってのルールが浸透してきたことや改正要望が複数寄せられたことから、生産現場での普及・利用拡大を図るため、令和7年12月に利用規程を改正。
- 主な変更点は2つ。



主な変更点		内容
1	ロゴマークのグレースケール及び単色利用	<ul style="list-style-type: none">肥料袋のデザインは以前から単色のものも多いことから、グレースケールまたは単色利用も認める。 <p>利用規程第9条第1項第四号</p>
2	ロゴマーク利用対象肥料の適用拡大	<ul style="list-style-type: none">国内肥料資源の利用拡大の視点から、一部肥料について利用対象の適用拡大 <p>利用規程第8条第2項</p>

イ【全国推進協議会会員名】は、国内肥料資源の利用拡大を応援します/しています
口【全国推進協議会会員名】は、国内肥料資源の利用拡大に賛同しています
のいずれかの表現を一体として記載する。

【ロゴマークの利用に当たって】

- ①国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会の会員（無料）であること
- ②国内肥料資源推進ロゴマークの利用申請を行い、許諾を得ること
- ③肥料包装へロゴを貼付したり、肥料のチラシにロゴを掲載する場合にあっては、対象となる肥料で、必ず国内資源が含まれる肥料であること

3. 国内肥料資源推進ロゴマークの活用促進（利用規程の改正）

主な改正点1：ロゴマークのグレースケール及び単色利用

- グレースケールのロゴマークデータを作成。グレースケールのロゴマークの利用申請が可能となつた。
- 単色利用も可能とするが、単色利用を希望する場合には、申請者が、単色のロゴマーク案と肥料袋への使用イメージを提出（別記様式1-2）し、農林水産省農産局技術普及課農産局技術普及課が個別に判断する。
- グレースケール及び単色での利用を希望する場合には、別紙ガイドラインに従うものとする。

使用にあたつてのポイント

- ロゴマークの視認性が維持されているか
- 「国内肥料資源利用拡大プロジェクト」の文字が視認できるか
- 「【●▲株式会社】は、国内肥料資源の利用拡大に賛同しています」の文字が視認できるか

※ ロゴマークと一緒に記載する文言の色は、視認性を確保するために、変更して構わない



【●▲株式会社】は、国内肥料資源の利用拡大に賛同しています



〈良い例〉



〈悪い例〉



3. 国内肥料資源推進ロゴマークの活用促進（利用規程の改正）

主な改正点2：ロゴマーク利用対象肥料の適用拡大

- ロゴマークを貼付できる肥料として、「⑬その他（農林水産省農産局技術普及課長が認めたもの）」を追加。
- 国内資源が肥料原料として含まれていることが確認でき、かつ、国内資源由来の肥料原料が調達不可となった場合でも、輸入肥料原料へ容易に変更されないことが見込まれるものであれば、個別に認める。

改正にあたっての注意事項

- 化成肥料でも、国内資源を利用すれば、ロゴマークを貼付できるようになった。
- 化成肥料は、原料を変更しても原料表示をする必要がない肥料であるが、原料を国産から輸入に変更した場合にはロゴマークを使用しないこと。
- 原料を国産から輸入に変更した場合に、ロゴマークを貼付したままにしておくと違反に問われる可能性があるため、その点に注意してロゴマークを使用すること。



4. 国内肥料資源関係のHPをリニューアル

■ 「国内資源の肥料利用の拡大について」のページをリニューアル。

主なポイント

コンテンツごとに整理

全国推進協議会関係のコンテンツ（ロゴマークや活用事例集など）を中心によく利用されるものを整理し、必要な情報に容易にアクセスできるようになった

ページの構成を簡潔に

以前のページでは、ページ階層が複雑で、どこに何があるのか分かりにくかったが、ページの構成を簡潔にすることで、目的のコンテンツを探しやすくなった

コンテンツを視覚化

コンテンツごとにアイコンを設定することで、視覚的にも分かりやすく、文字情報を読まずとも直感的に操作することができるようになった

（リニューアルしたページ（抜粋））

国内資源の肥料利用の拡大について

コンテンツ



国内肥料資源利用拡大対策事業

事業の交付等要綱・実施要領のほか、事業概要、申請様式、Q&A、公募情報等を掲載しています。

▶ 詳細は[こちら](#)



利用拡大に向けた全国推進協議会

全国推進協議会の設置要領、会員一覧、会議資料、取組実績、会員登録フォーム等を掲載しています。

▶ 詳細は[こちら](#)



国内肥料資源マッチングサイト

肥料原料供給者、肥料製造事業者、肥料利用者間のマッチングサイト、登録フォームを掲載しています。

▶ 詳細は[こちら](#)



イベント情報

国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムやシンポジウムに関する情報を掲載しています。

▶ 詳細は[こちら](#)



国内肥料資源推進ロゴマーク

名刺、HP、肥料袋等に貼付可能なロゴマークの利用規程、利用申請方法等を掲載しています。

▶ 詳細は[こちら](#)



国内資源由来肥料の活用事例集

全国各地の国内資源由来肥料の活用事例を地域別、資源別に紹介しています。

▶ 詳細は[こちら](#)

5. 国内資源由来肥料の活用事例を収集・整理

- 国内資源由来肥料の活用事例を、3つの国内肥料資源（1. 家畜ふん、2. 下水汚泥資源、3. その他（食品残渣等）別に収集。
- 本年、23事例を追加で収集し、現在、125事例を公表。

農林水産省

English キッズサイト サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

逆引き事典から探す 組織別から探す キーワードから探す Google 検索

会見・報道・広報 政策情報 統計情報 申請・お問い合わせ 農林水産省について

ホーム > 農産 > 農業生産資材対策情報 > 農業関係情報 > 国内肥料資源の肥料利用について > 国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会について > 先進事例の横展開・関連情報の提供

先進事例の横展開・関連情報の提供

国内資源由来肥料の活用事例集 New

全国各地の多様な主体による国内資源由来肥料の活用事例を、3つの国内肥料資源、3.その他(食品残渣等)別に収集し、公表しております。

国内資源由来肥料の活用事例一覧(EXCEL: 60KB) New

excelファイル上で、フィルター機能を使って事例を絞り込むことができます。

「国内資源のジャンル」「肥料の計上」「流通形式」「都道府県」などの項目がございます。

国内資源別

1. 家畜ふん(49事例)

2. 下水汚泥資源(29事例) New

3. その他(食品残渣等)(24事例) New

都道府県別一覧

都道府県	タイトル	整理番号
北海道	北海道 町有の堆肥製造設備を活用したJAによる堆肥供給(津別町、JAつべつ) (PDF: 508KB) <small>Link</small>	1-8
北海道	北海道 牛ふんと鶏ふんを主要原料とした堆肥をペレット化 (JA十勝清水町) (PDF: 645KB) <small>Link</small>	1-9
北海道	北海道 脱水・堆肥・飼料用糞による耕種用堆肥 (新おたる農協、有限会社ディクトリーポーク) (PDF: 481KB) <small>Link</small>	1-10
北海道	北海道 バイオガスプラントから生成される消化液 (北海道鹿追町) (PDF: 486KB) <small>Link</small>	1-11
北海道	北海道 牛ふんを原料としたペレット堆肥 (株式会社鷹島ファーム) (PDF: 568KB) <small>Link</small>	1-38

都道府県別の
一覧を作成

国内肥料資源別に掲載

国内資源由来肥料の活用事例集 (1.家畜ふん)

整理番号	タイトル	都道府県
1-1	全国のJA初! 特殊肥料等入り指定混合肥料 (JA佐久浅間・全農長野・朝日アグリア株式会社) (PDF: 637KB) <small>Link</small>	長野県
1-2	鶏ふんを原料にした発酵鶏ふん肥料 (JA全農ひろしま) (PDF: 597KB) <small>Link</small>	広島県
1-3	家畜ふん堆肥を原料にした堆肥入り粒状複合肥料 (BB肥料) (JA宮崎経済連) (PDF: 558KB) <small>Link</small>	宮崎県
1-4	混合ペレット肥料の製造、広域流通の実証 (JA鹿児島県経済連) (PDF: 600KB) <small>Link</small>	鹿児島県
1-5	生産現地の土壤実態に即した混合堆肥複合肥料 (岡山県農林水産総合センター、三興株式会社) (PDF: 577KB) <small>Link</small>	岡山県
1-6	熊本県堆肥共済会大賞を2年連続受賞した堆肥入り複合肥料 (JA菊池、JA熊本経済連、片倉コープアグリ株式会社) (PDF: 555KB) <small>Link</small>	熊本県
1-7	県内広域での牛ふん堆肥受託散布 (有限会社J1・タケダファーム) (PDF: 569KB) <small>Link</small>	奈良県
1-8	町有の堆肥製造設備を活用したJAによる堆肥供給 (津別町、JAつべつ) (PDF: 508KB) <small>Link</small>	北海道

リンク先

目的に合わせて検索可能!

リンク先

各事例の取組を1枚に取りまとめて紹介

リンク先

1-8 町有の堆肥製造施設を活用したJAによる堆肥供給 (津別町、JAつべつ) 2023年11月時点

北海道津別町 JAつべつ

JAつべつでは、指定管理者として管理運営している堆肥製造施設において、町内畜産農家の家畜排せつ物を原料にした堆肥を製造し、町内耕種農家へ供給している。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称 ■ 取組の経緯・内容・成果(見込み)

・牛ふん

・種類: 特殊肥料(堆肥)
・肥料名: 牛ふん堆肥

■ 作物 ■ 主成分の含有量(%)、特徴等

・小麦
・甜菜
・馬鈴薯
・豆類

・N P K Ca M C/N比
1.2 1.0 1.0 0.9 0.4 19

■ 取組の経緯
・町内の畜産農家では、飼養頭数の増加に伴い、自家圃場への過剰散布、労働負担の増加が課題となっていました。平成13年度に津別町堆肥製造施設が稼働したことにより、畜産農家に畜産排せつ物の堆肥化への取組を促すことで、自家圃場への過剰散布の解消及び労働負担の軽減を狙っています。

■ 取組の内容
・畜産環境対策総合支援事業を活用して既存施設の一部を改修し、高圧通気システムを導入したことで、完熟堆肥になるまでの期間の大半を短縮に取り組んでいます。

■ 成果(見込み)
・完熟堆肥までの期間を180日から60日へ大幅に縮減でき、その結果、畜産排せつ物の受入量及び堆肥製造量が大幅に増加。畜産農家の自家圃場への過剰散布及び労働負担を減らし、かつ規模拡大にも繋がることができます。耕種農家としては、堆肥を施用することで土壌改善が図られ、生産性向上につながる。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ

資源供給者: 畜産農家(津別町) → 肥料製造者: 津別町堆肥製造施設 (JAつべつに製造委託) → 肥料利用者: 耕種農家(津別町)

堆肥A 堆肥B

■ 今後の課題・取組

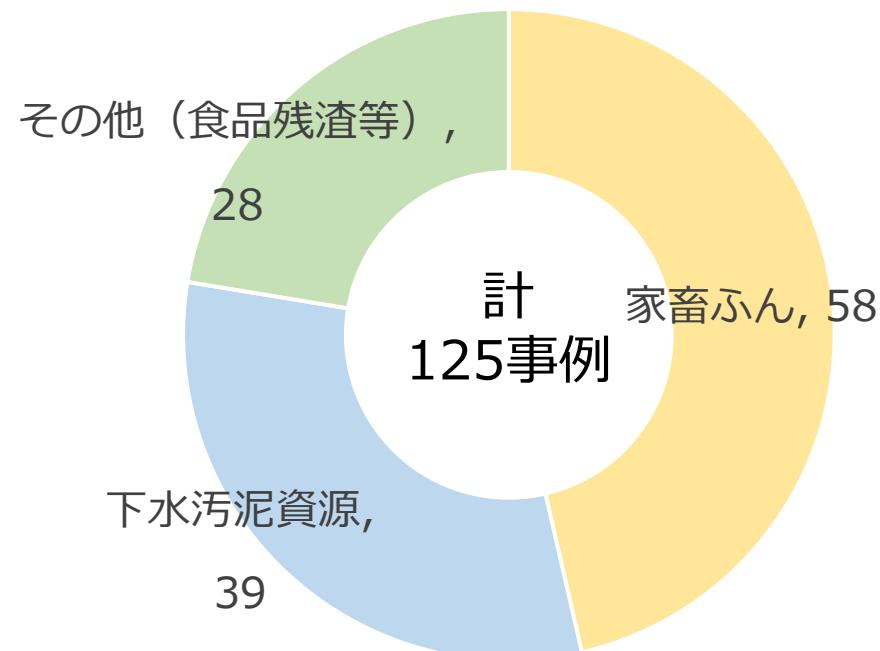
課題
・施設の稼働開始当初より、電気代高騰及び混合する副産物(木皮)の価値によるJAの経営の圧迫。
・物価高騰(肥料、燃費、燃料等)による耕種農家の買い控えによる堆肥販売数の減少。

今後の取り組み
・耕種農家に対し、良質な堆肥をアピールし、化学肥料削減によるコスト削減への取り組みとした堆肥活用を推進していく。

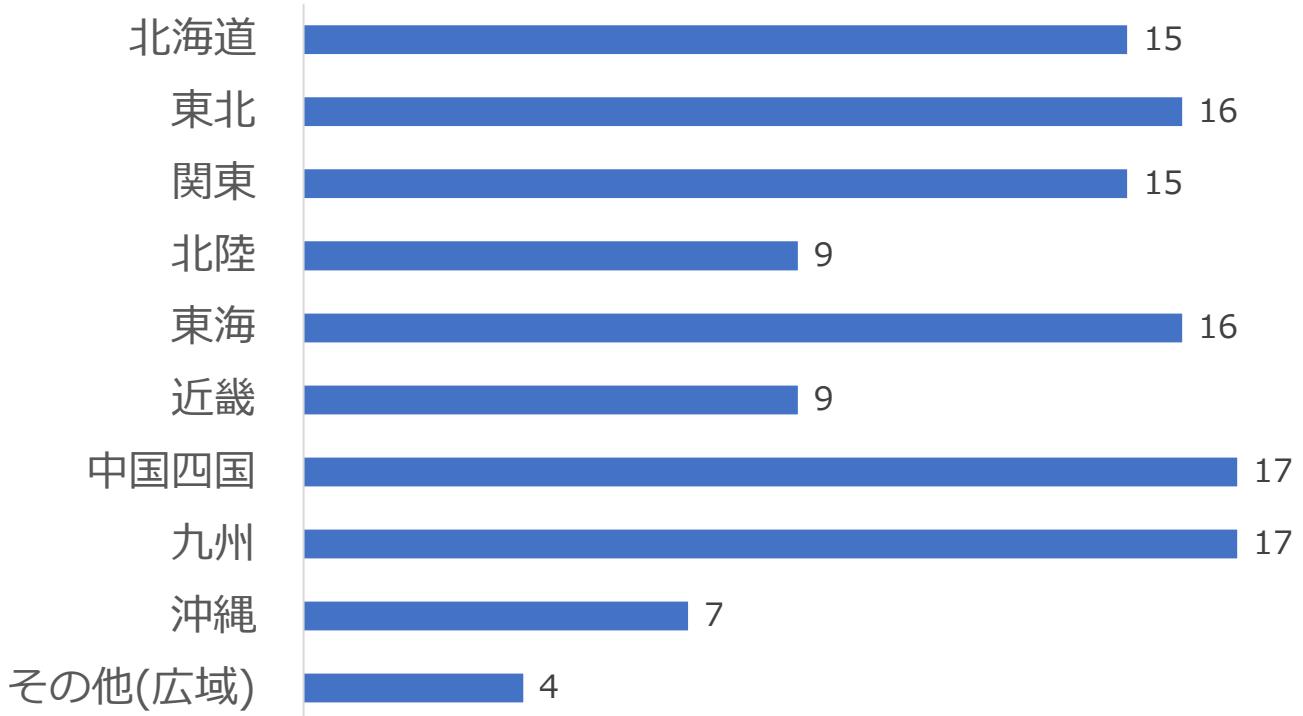
5. 国内資源由来肥料の活用事例を収集・整理

- 国内資源別にみると、家畜ふんの事例が58事例と最も多い、次いで下水汚泥資源39事例となっており、今後の類似事例の普及拡大が期待される。
- 各地方農政局等が所轄する都道府県の単位でみると、中国四国地域が17事例、九州地域17事例と最も多い、全国各地で様々な取組が実施されている。

国内資源別



ブロック別



国内資源由来肥料の活用事例の紹介（追加掲載事例一覧）

整理番号	国内資源		形状	流通	タイトル	事業者
	ジャンル	詳細				
1-50	家畜ふん	牛ふん	—	—	牛ふん・食品残渣等を原料とした堆肥を製造	壮瞥町堆肥センター
1-51	家畜ふん	牛ふん	ペレット	広域流通	牛ふん堆肥を原料にしたペレット肥料	株式会社蔵王高原牧場
1-52	家畜ふん	牛ふん	—	フレコン 広域流通	ソリューション提案を実現！！農業者の要望に沿った有機質を含んだオーダーメイド配合肥料の提供	株式会社服部
1-53	家畜ふん	牛ふん	粉状	県内	地域資源である牛ふん、食品副産物等をフル活用したばかし肥料	恵那北トマト生産組合 加子母トマト生産組合
1-54	家畜ふん	鶏ふん	ペレット	広域流通	鶏（うずら）ふんを原料とした高品質な堆肥の安定的な製造	豊橋養鶏農業協同組合
1-55	家畜ふん	—	—	県内・県外	地域資源のバークや牛ふん等を原料にした高品質堆肥の製造・販売	有限会社エコロ
1-56	家畜ふん	牛ふん 豚ふん 鶏ふん	固形	管内	地域内の牛ふん・豚ふん・鶏ふんを原料とした堆肥	宜野座村堆肥センター
1-57	家畜ふん	牛ふん	—	管内	牛ふん堆肥の高度化による地域内資源循環の取組	株式会社三春まちづくり公社
1-58	家畜ふん	牛ふん 鶏ふん	—	県内	牛ふん主体の堆肥による地域内の畜産農家と耕種農家の連携	有限会社ファーマーズ・クラブ赤とんぼ
2-31	下水汚泥	—	固形	—	下水汚泥を原料とした汚泥肥料「トマックス」「グリーンウェーブ」等を製造	株式会社トマウェーブ
2-32	下水汚泥	—	—	管内	下水汚泥と生ごみ等を原料として肥料利用	恵庭市
2-33	下水汚泥	燃焼灰	粉状	県内	下水汚泥燃焼灰を「菌体りん酸肥料」として登録し肥料原料として利用	埼玉県下水道局
2-34	下水汚泥	—	粉状	県内	し尿、浄化槽汚泥から肥料を製造・販売	坂井地区広域連合 さかいクリーンセンター
2-35	下水汚泥	—	固形	—	下水は宝の山！下水汚泥固形燃料化物の菌体りん酸肥料登録	名古屋市上下水道局
2-36	下水汚泥	—	ペレット	県内	下水汚泥を原料にした汚泥肥料	株式会社 再創社
2-37	下水汚泥	—	固形	県内	下水汚泥を活用した汚泥肥料	和歌山県ヘルス工業株式会社
2-38	下水汚泥	—	固形	広域流通	下水汚泥から回収したリンを肥料原料として活用	島根県宍道湖東部浄化センター
2-39	下水汚泥	—	固形	県内	北九州市の下水から菌体リン酸肥料が誕生！	北九州市上下水道局 日鉄エンジニアリング株式会社
2-40	下水汚泥	—	固形	管内	下水汚泥を利用した汚泥肥料	株式会社S&Kみやこ島
3-25	その他	食品残渣	ペレット	県内	メタン発酵消化液を原料にした肥料原料及び指定配合肥料の製造	さがみはらバイオガスパワー株式会社・旭肥料株式会社
3-26	その他	食品残渣	固形	県内	食品製造業者等から排出される食品残渣・汚泥等を活用した汚泥肥料	大城有機肥料
3-27	その他	木材	粉状	県内	木質バイオマス燃焼灰を特殊肥料として地域で活用	合同会社新見バイオマスエナジー
3-28	その他	食品残渣	固形	広域流通	マッシュルーム廃菌床を再利用した高機能堆肥SBXの製造	有限会社舟形マッシュルーム

計23事例（ ■ : 家畜ふん (9) 、 ■ : 下水汚泥資源 (10) 、 ■ : その他: (4) ）

6. 令和7年度第2回国内肥料資源利用拡大アワードを実施

国内肥料資源利用拡大アワードとは？

- 海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料へ積極的に転換を図る取組や地域で効率的に資源循環を推進する取組をおこなっている肥料原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者を表彰。

受賞者一覧



農林水産省 農産局長賞

三興株式会社

～有機物と微生物を活用し、日本の農業と環境をクリエイトする～



農林水産省 畜産局長賞

十勝清水町農業協同組合

～堆肥ペレット「しみず有機」と「とれたんと」の取り組みについて～



国土交通省上下水道審議官賞

NPO法人 循環型 環境・農業の会

～下水道肥料と未利用資源によるコスト削減と高品質、高収量への取り組み～



国内肥料資源の利用拡大に向けた 全国推進協議会 奨励賞

富士見工業株式会社

ENEAGO株式会社

大和フロンティア株式会社

県南環境保全センター株式会社

バイオ液肥研究コンソーシアム

真庭市、真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合

ヒガシマル醤油株式会社

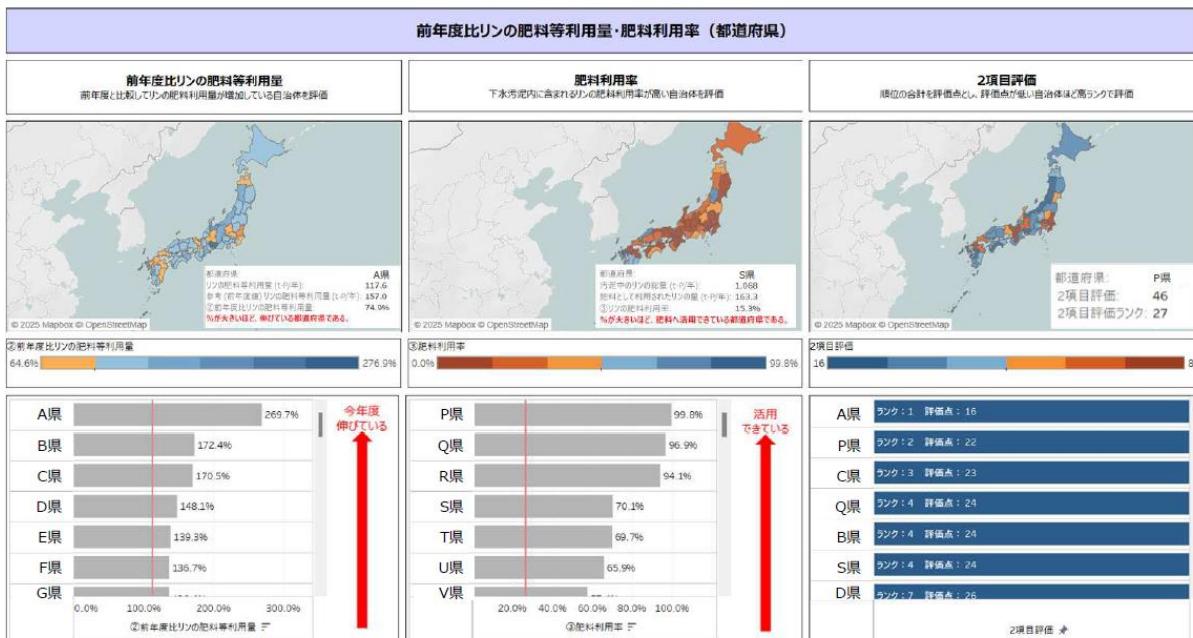
有限会社山陰ネッカリッチ

興部町

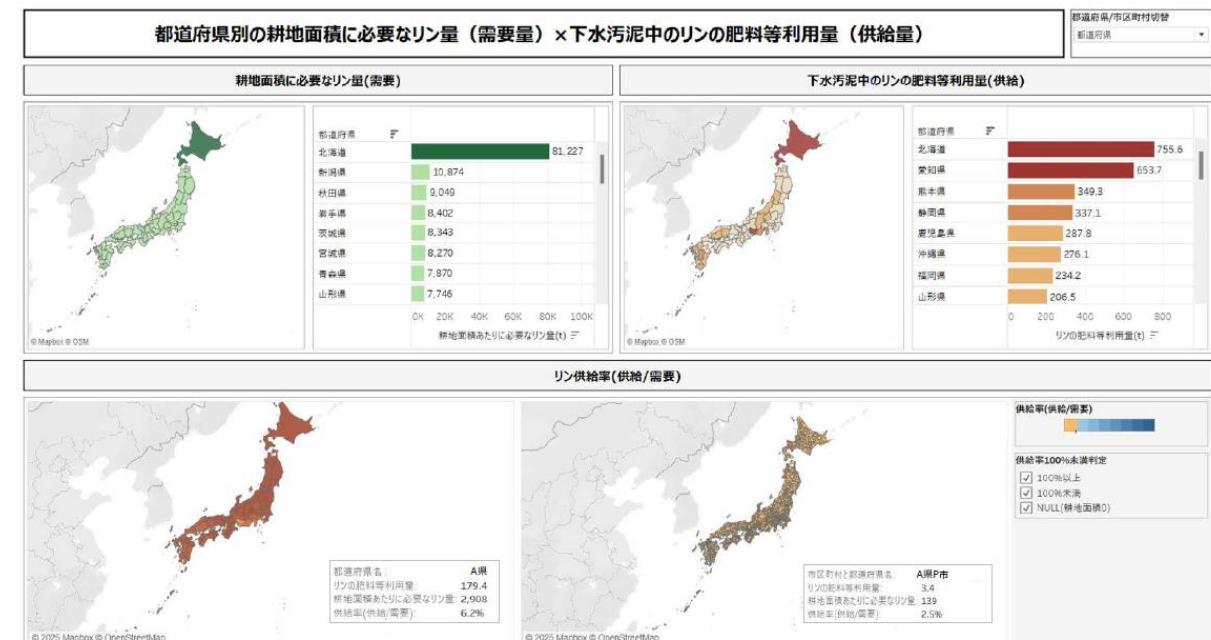
7. 下水汚泥資源の需給マップを作成

- 下水処理場が置かれている自治体について、前年度比のリンの肥料等利用量や肥料利用率から、リンの供給量を可視化。
- 耕地面積あたりに必要なリン量（需要量）に対して、下水汚泥によるリンの供給率を可視化。

供給量の可視化



需給量の可視化



8. イベント等の情報発信

■ 全国推進協議会HPやメールマガジンを通して、イベント等の様々な情報発信を実施。

全国推進協議会HP

- 国内肥料資源の利用拡大に関する会員の皆様からの情報をタイムリーに発信。

日付		概要	情報発信者
R7.2.5	会員の取組	令和6年度畜産堆肥流通体制支援事業に係る普及説明会を開催します	(一財) 畜産環境整備機構
R7.4.9	会員の取組	国・地方公共団体の職員を対象にした密閉型堆肥化施設見学会・講演会を開催します	(一社) 日本下水汚泥資源化協会
R5.5.30	会員の取組	バイオ液肥の活用を推進する様々な段階で生じる疑問や相談を受け付ける相談窓口を開設しました	(一社) 日本有機資源協会
R5.7.3	会員の取組	2025年度土づくり推進フォーラム講演会「有機農業推進のための土づくりの現状と将来展望」を開催します	(一財) 日本土壤協会
R5.8.21	会員の取組	下水道資源肥料利用拡大セミナーを開催します	(公財) 日本下水道新技術機構
R7.9.24	行政情報	内閣府の戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)で研究開発された「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」に対し、「知」の集積と活用の場 産官学連携協議会と共催で、各研究成果の連携希望先とのマッチングイベントを開催します	「知」の集積と活用の場 産官学連携協議会事務局
R7.11.12	会員の取組	2025年度土づくり推進フォーラムシンポジウム「圃場の排水不良に起因する作物生育障害の現状と対策」を開催します	(一財) 日本土壤協会

メールマガジン

- 農林水産省国内肥料資源利用拡大対策事業に関するお知らせやマッチングフォーラム等イベント情報などをほぼ毎月配信。

日付	主な配信内容
R7.2.20	国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会第3回全体会合の開催報告等
R7.3.26	国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会の令和7年度取組方針の掲載について等
R7.4.23	国内肥料資源利用拡大対策事業（令和6年度補正予算）の第3次募集開始について等
R7.5.20	令和7年度における国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムの開催について等
R7.6.6	令和7年度第2回国内肥料資源利用拡大アワードの募集開始について等
R7.6.26	国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin近畿の出展者募集について等
R7.7.11	国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin北陸の出展者募集について等
R7.7.24	国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムに関するお知らせ等
R7.7.31	国内肥料資源利用拡大対策事業（令和6年度補正予算）の第4次募集開始について等
R7.8.29	令和8年度農林水産予概算要求について等
R7.9.29	国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラムin北陸の来場者募集について等
R7.10.30	「国内資源の肥料利用の拡大について」のページリニューアルについて等
R7.12.5	令和7年度補正予算の閣議決定について等
R7.12.12	令和7年度第2回国内肥料資源利用拡大アワードの受賞者の決定について等
R7.12.19	令和7年度補正予算事業の全国説明会について等
R7.12.25	国内肥料資源推進ロゴマーク利用規程の一部改正について等

令和 8 年度の取組方針（案）

令和8年度の取組方針（案）

継続・強化する取組

- ✓ 関係事業者間のマッチングフォーラムを開催します。

開催予定：東京など

- ✓ 国内肥料資源シンポジウム・交流会等の実施を支援します。

地域ブロック単位、
都道府県単位での開催を検討

- ✓ 第3回国内肥料資源活用アワードを開催します。

表彰式、事例発表会、座談会を開催

- ✓ 各自治体における資源活用方針の検討を促します。

需給マップの充実、活用
家畜ふん堆肥・下水汚泥を合わせたマップ

新たな取組

- ✓ 動画、パンフレット、ポスター等を作成し、普及啓発を行います。

- ✓ GREEN×EXPO 2027における情報発信を行います。

当面のスケジュール（案）

令和8年

3月

- 幹事会会合

- R 8年度の具体的な取組内容の検討

- 関連施策・関係者による取組等の情報発信（随時）

4月以降
(順次)

- マッチングフォーラムの開催のほか、都道府県段階でのシンポジウム・交流会等の実施支援

- 第3回国内肥料資源利用拡大アワードの実施

- 第5回全体会合

- 取組実績の報告
 - 関係団体・事業者の取組紹介
 - 今後の取組の方向性検討

年度内

- 幹事会会合

- 具体的な取組内容の検討

令和8年度取組方針（案）に関するお問い合わせ先

- 令和8年度取組方針（案）についてご意見等がある場合には、以下の問い合わせ先までご連絡ください。
- ご意見等は、令和8年2月6日（金）までにお願いいたします。

担当：国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会事務局（農林水産省農産局技術普及課）

TEL : 03-6744-2107

E-mail : zenkoku_kyogikai@maff.go.jp

參考資料

国内肥料資源利用拡大対策事業（令和6年度補正予算）における取組

事業実施計画書を基に農林水産省において作成

(注：都道府県の区分は、事業実施計画書に基づき、事業実施場所あるいは事業実施主体の所在地としております)

(注：取組数は、令和7年12月時点のものになります)

(注：（S）はソフト事業、（H）はハード事業を指します)

主な国内肥料資源

家畜ふん 

食品廃棄物 

下水汚泥 

木材 

その他

北海道

泉機械利用組合（S）

散布機械を導入し、鶏ふん堆肥の散布体制を整備することで、環境負荷の低減と資源の有効利用を図る。

株式会社トーチク（H）

袋詰設備を導入し、鶏ふん堆肥の出荷業務を効率化することで、広域流通と供給量の増加を図る。

有限会社かみふらの牧場（H）

コンポスト設備を導入し、豚ふん堆肥の生産能力を増強することで、耕種農家に対する供給量増加を図る。

MT組合（S）

散布機械を導入し、牛ふん堆肥の散布体制を整備することで、環境負荷の低減と資源の有効利用を図る。

阿寒堆肥流通協議会（S）

牛ふん堆肥を利用したペレット肥料の試作を行うことで、国内資源を活用した肥料への転換と広域流通を図る。

南機械組合（S）

散布機械を導入し、牛ふん堆肥の散布体制を整備することで、環境負荷の低減と資源の有効利用を図る。

秋田県

株式会社ポークランド (H)



コンポスト設備やペレット化設備を導入し、豚ぶん堆肥の広域的な流通体制を整えることで、様々な農家ニーズへの対応を図る。

大潟村新有機肥料製造コンソーシアム (S) ➤➤➤

村内外の食品残渣を活用した新たなペレット肥料を試作することで、肥料の安定供給を図る。

山形県

有限会社舟形マッシュルーム (S) ➤➤➤

マッシュルーム栽培の副産物である廃菌床を活用した肥料の試作を行うことで、持続可能な堆肥製造の確立を図る。

株式会社農園貞太郎 (S)

密閉式炭化装置を導入し、バイオ炭や食品残渣を活用した肥料の栽培実証を行うことで、海外の原料に依存しない構造構築を図る。

いいで有機肥料センター利用組合 (S) ➤➤➤



散布機を導入することで散布能力を増強し、牛ふん堆肥の施用面積拡大及び肥料利用者拡大を図る。

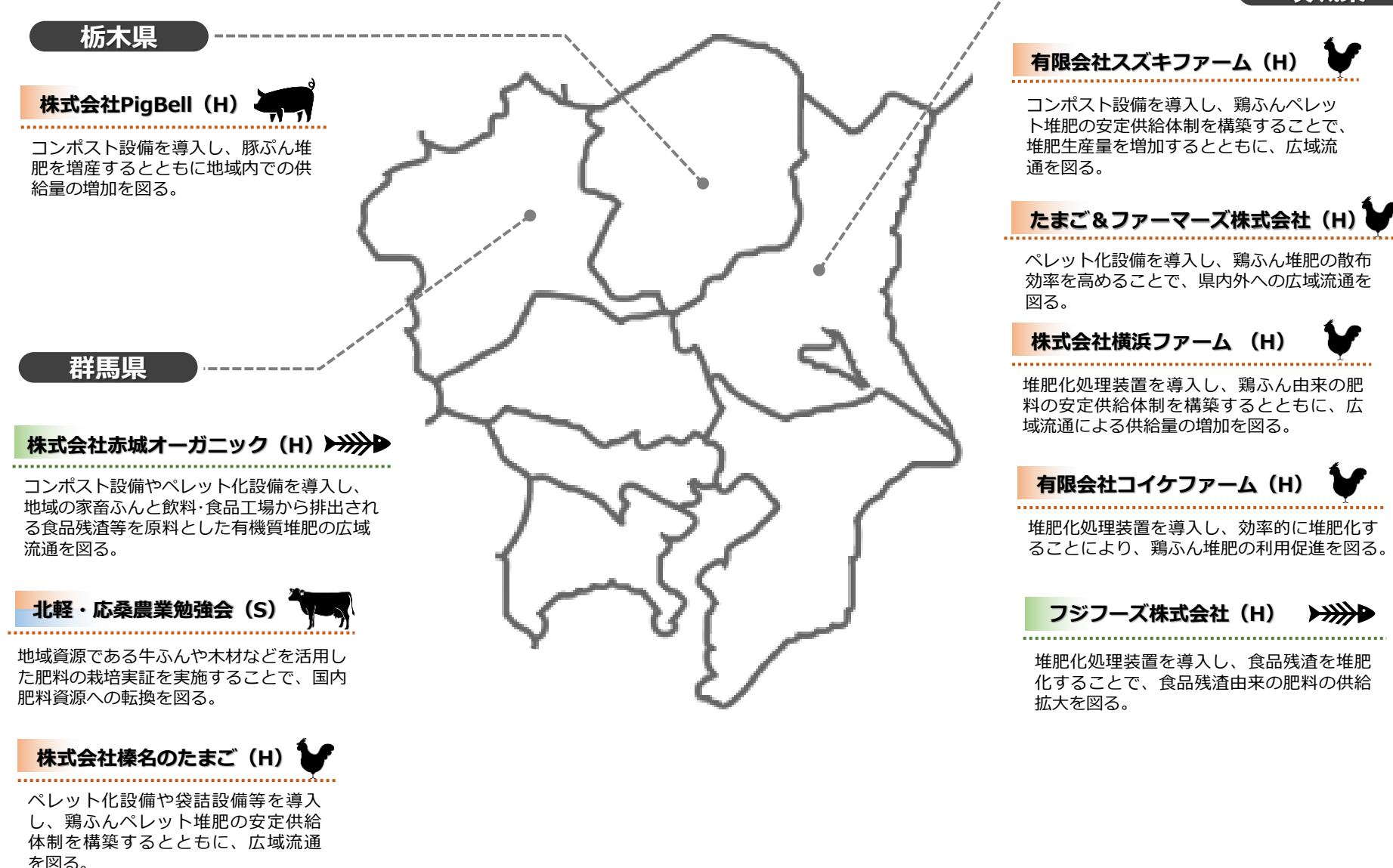
岩手県

農事組合法人アースクリエート (H)



ペレット設備や関連設備を導入し、豚ぶん堆肥の生産量の増加と、広域流通を図る。





埼玉県

株式会社エコ計画 (H)

乾燥設備やペレット化設備を導入し、汚泥や動植物性残渣等を活用した肥料の製造量の増加と、ペレット化や臭気の改善により利便性の向上を図る。

有限会社エー・アイ (H)

選別装置を導入し、製造工程の効率化を行うことで、牛ふんペレット肥料の供給体制強化を図る。

尾熊牧場株式会社 (H)

コンポスト設備を導入し、発酵処理を安定化することで、高位安定品質な牛ふん堆肥の生産を図る。

株式会社小池勝次郎商店 (S) ➤➤➤

食品残渣等を活用した肥料の栽培実証を実施することで、利用拡大を図る。

東京都

小野田化学工業株式会社 (S)

下水汚泥燃焼灰を混合した菌体りん酸肥料の試作と菌体りん酸肥料を原料とした加工りん酸肥料の試作を実施。

株式会社建設技術研究所 (S)

下水汚泥肥料の栽培実証により、国内資源由来肥料への転換を図る。

千葉県

農事組合法人清和畜産 (H)

コンポスト設備やペレット化設備を導入し、高位安定品質な豚ふん堆肥を生産するとともに、ペレット化により広域流通を図る。

株式会社SB-Lab (H)

コンポスト設備を導入し、混合堆肥複合肥料の原料となる良質な豚ふん堆肥の生産を図る。

有限会社藤崎農場 (H)

コンポスト設備を導入し、混合堆肥複合肥料の原料となる良質な豚ふん堆肥の生産を図る。

有限会社横山養豚 (H)

コンポスト設備を導入し、混合堆肥複合肥料の原料となる良質な豚ふん堆肥の生産を図る。

有限会社旭鶏園 (H)

ペレット化設備を導入し、鶏ふん堆肥をペレット化することで、広域流通を図る。

株式会社スワインファームジャパン (H)

コンポスト設備を導入し、混合堆肥複合肥料の原料となる良質な豚ふん堆肥の生産を図る。

株式会社武藏野 (H) ➤➤➤

汚泥乾燥設備を導入し、肥料原料となる高品質な食品残渣汚泥の安定供給を図る。



静岡県

丸石株式会社 (H)



臭気対策設備を導入し、国産の牛由来肉骨粉等を原料とした配合肥料及びペレット肥料の製造時に発生する臭気を軽減することで、安定的な供給を図る。

三ヶ日町地域国内肥料資源利用協議会 (S)



牛ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、地域における国内肥料資源の利用拡大を図る。

静岡県東部地区国内肥料資源利用協議会 (S)



牛ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、化学肥料の代替肥料としての定着を図る。

株式会社原田総合製茶 (S)



食品残渣等を活用した肥料の栽培実証を実施することで、高品質な有機碾茶生産を図る。

有限会社ヤマニ (S)



食品残渣等を活用した肥料の栽培実証を実施することで、国内資源由来肥料への転換を図る。

株式会社NEXT (S)



鶏ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、肥培管理基準の確立を図る。

株式会社大濱屋 (S)



鶏ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、肥培管理基準の確立を図る。

株式会社やさいの樹 (S)



鶏ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、肥培管理基準の確立を図る。

株式会社とわ (S)



鶏ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、肥培管理基準の確立を図る。

長野県

株式会社角田牧場 (H)



堆肥化設備を導入し、高位安定品質な牛ふん堆肥を生産することで、広域流通を図る。

有限会社安曇野牧場 (H)



コンポスト設備やペレット化設備を導入し、高位安定品質な牛ふん堆肥を生産することで、広域流通を図る。

有限会社信州つづじヶ丘牧場 (H)

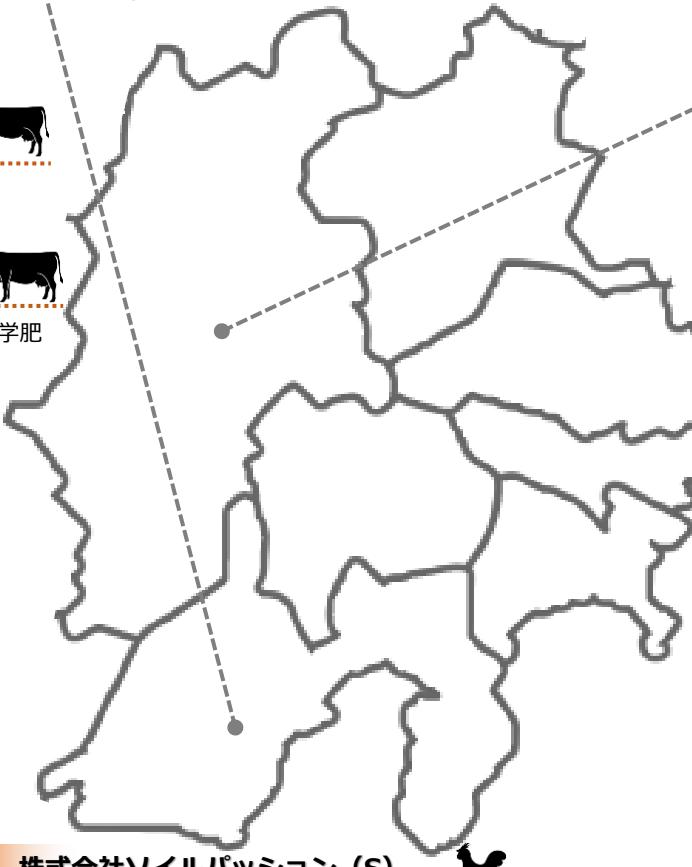


コンポスト設備を導入し、高品質な牛ふん堆肥を生産するとともに、ペレット化により広域流通を図る。

農事組合法人会田共同養鶏組合 (H)



コンポスト設備を導入し、高品質な鶏ふん堆肥の増産を図る。



株式会社ソイルパッショナ (S)



鶏ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、肥培管理基準の確立を図る。

有限会社コスマグリーン庭好 (S)



豚ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、肥培管理基準の確立を図る。

株式会社アイファーム (S)



豚ふんを活用した肥料の栽培実証を実施することで、肥培管理基準の確立を図る。

有限会社ヤマセン (S)

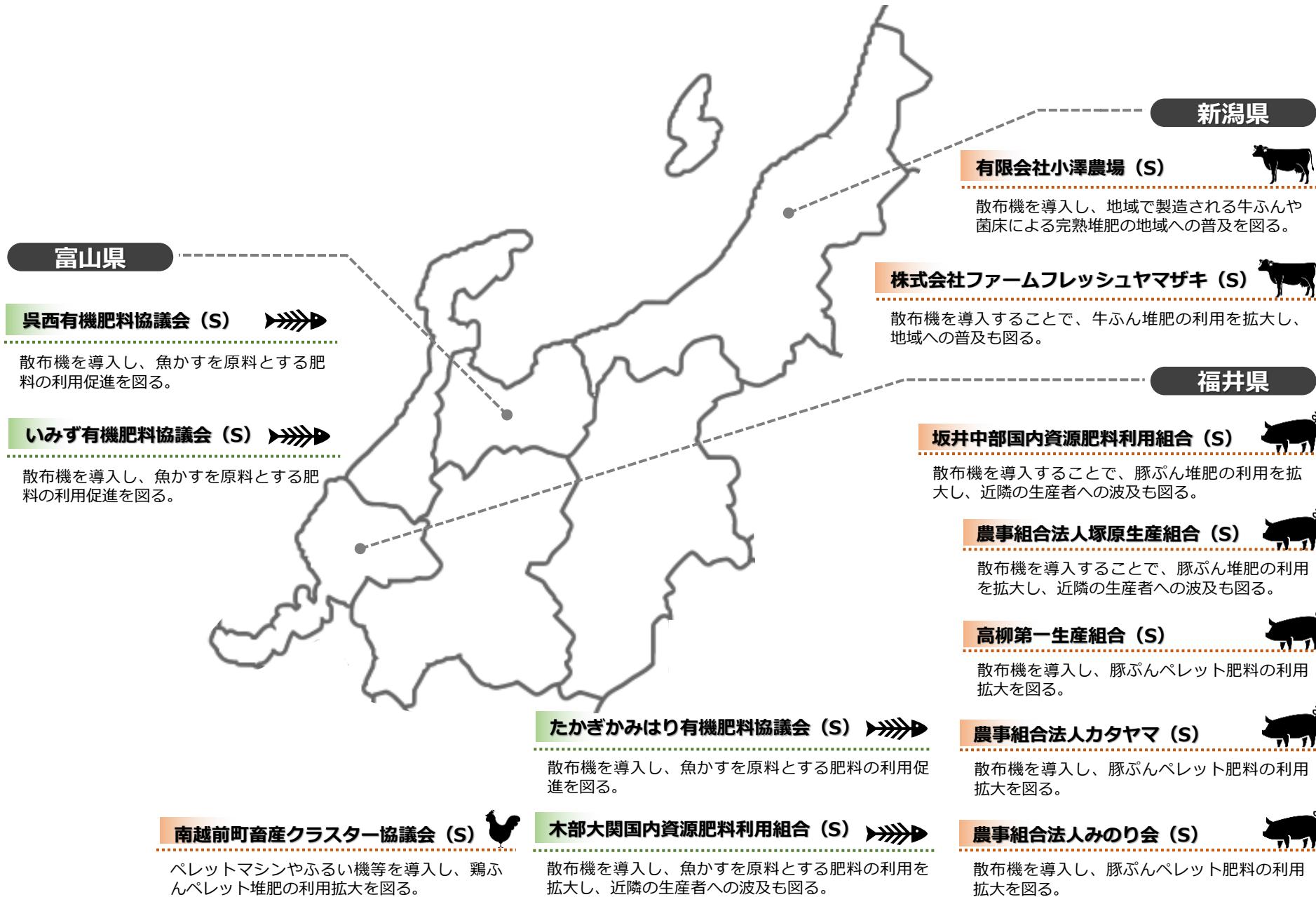


食品残渣等を活用した肥料の栽培実証を実施することで、茶の品質の安定を図る。

株式会社日邦 (H)



コンポスト設備やペレット化設備を導入し、下水汚泥肥料を高付加価値化、高品質化することで、製品供給量の増大を図る。



岐阜県



有限会社錢坂畜産 (H)

コンポスト設備を導入し、良質な豚ぶん堆肥を生産することで、地元や近隣県への流通を図る。

株式会社サラダコスモ (H)

乾燥設備を導入し、乾燥菌体肥料を粒状化することで、散布作業の効率化と広域流通による供給量の増加を図る。

株式会社アーステクノ (H)

乾燥設備を導入し、食品工業汚泥を活用した肥料について、年間を通じた安定的な肥料供給体制の構築を図る。

(株) 日本環境管理センター (H)

堆肥化設備を導入し、年間を通して下水汚泥肥料を製造することで、肥料の安定供給を図る。

三重県

有限会社スズランファーム (H)



堆肥化設備を導入し、良質な鶏ふん堆肥の生産量の増加を図る。

有限会社松葉ピッグファーム (H)



コンポスト設備を導入し、ペレット加工に適した含水率の豚ぶん堆肥を生産することで、県内外への流通を図る。

鈴鹿市地域国内肥料資源利用協議会 (S)



牛ふんペレット堆肥を用いた指定混合肥料の栽培実証を実施することで、地域における国内肥料資源の利用拡大につなげる。

四日市市地域国内肥料資源利用協議会 (S)



牛ふんペレット堆肥を用いた指定混合肥料の栽培実証を実施することで、地域における国内肥料資源の利用拡大につなげる。

鈴鹿山麓地域国内肥料資源利用協議会 (S)



牛ふんペレット堆肥を用いた指定混合肥料の栽培実証を実施することで、地域における国内肥料資源の利用拡大につなげる。

津市畜産堆肥利用促進協議会 (H)



堆肥流通施設の整備とペレットマシンを導入し、鶏ふんペレット堆肥の利用拡大を図る。

愛知県



株式会社鈴木牧場 (S)

堆肥運搬車を導入し、牛ふん堆肥を効率的に運搬することで、利用面積の拡大を図る。



株式会社デイリーファーム (H)

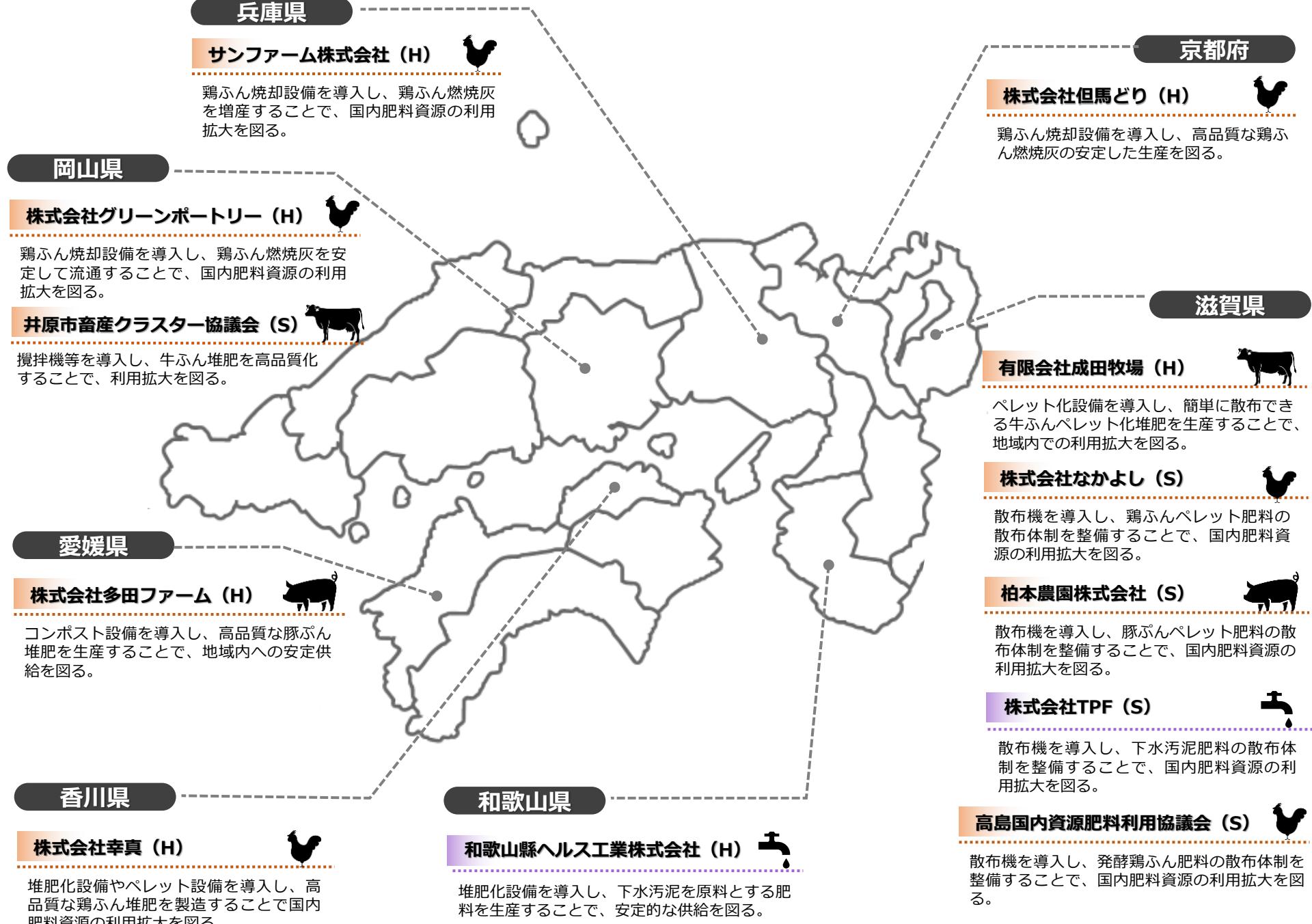


食品残渣を活用した肥料の試作・栽培実証を行うことで、化学肥料の代替としての普及を図る。

自然フーズ株式会社 (H)



ペレット化設備を導入し、食品工業汚泥等を活用した肥料の散布・運搬・保存性能を高め、供給量の増加を図る。



佐賀県

廻里アグリ (S)



鶏ふんを活用した肥料の栽培実証を実施するとともに、散布体制を整備することで、地域での利用拡大を図る。

株式会社HLF (S)



鶏ふんを活用した肥料の栽培実証を実施するとともに、散布体制を整備することで、地域での利用拡大を図る。

杵島有機クラブ (S)



鶏ふんを活用した肥料の栽培実証を実施するとともに、散布体制を整備することで、地域での利用拡大を図る。

アグリコマース (H)



肥料包装設備を導入し、家畜ふんや食品残渣を活用した肥料の生産効率向上させることで、供給量の増加を図る。

熊本県

株式会社山都竹流 (H・S)



堆肥舎を整備するとともに、散布機を導入し、鶏ふん堆肥や竹材を活用した肥料の生産体制構築を図る。

鹿児島県

マリファーム株式会社 (H)



原料保管施設等を整備し、鶏ふんを原料とする肥料の製造量を増加することで、安定的な流通を図る。

与論町 (S)



散布機等を導入し、牛ふん堆肥や腐葉土入り牛ふん堆肥の運搬・散布体制を整備することで、利用拡大を図る。

福岡県

株式会社活菜舎 (H)



堆肥化施設やペレット化設備を導入し、もみ殻や鶏ふん等を活用したペレット肥料を製造することで、施肥の効率化と広域流通による供給量の増加を図る。

有限会社古賀農産 (S)



鶏ふんを活用した肥料や食品残渣由来肥料の栽培実証を実施するとともに、散布体制を整備することで、地域での利用拡大を図る。

柳川有機の会 (S)



食品残渣由来肥料の栽培実証を実施するとともに、散布体制を整備することで、地域での利用拡大を図る。

株式会社ヒラノのたまご (H)



堆肥舎を増設し、鶏ふんペレット堆肥の品質向上と生産拡大を図る。

株式会社ウエルクリエイト (H)



コンポスト設備やペレット化設備を導入し、と鶏ふんと食品残渣を混合した肥料を製造することで、肥料の利用拡大を図る。

大分県

合同会社稻田農産 (S)



鶏ふんを活用した肥料や食品残渣由来肥料の栽培実証を実施するとともに、散布体制を整備することで、地域での利用拡大を図る。

宮崎県

南国興産株式会社 (H)



造粒設備を導入し、鶏ふん燃焼灰を造粒することで、肥料としての取扱の利便性向上と流通拡大を図る。

宮崎県酪農クラスター協議会 (H)



堆肥化処理施設の整備や攪拌機等を導入し、牛ふん堆肥を高品質化することで、利用拡大を図る。